

政策 2

豊かな心を育むまちづくり



- ▶ 2－1
子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実
- ▶ 2－2
「生きる力」を育む学校教育の充実
- ▶ 2－3
心を育む生涯学習の推進
- ▶ 2－4
文化財の保護と芸術文化の振興

2-1 子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実

拡
充

幼児発達支援事業

担当課 こども支援課

1,283 万円

【目 的】

発達に障がいのある幼児または発達が気になる幼児と保護者に対し、相談や支援を行います。また発音が気になる幼児に対して、言語指導を行います。

財源（万円）

市の負担
1,283

- 相談、支援延べ件数 300件
- 指導延べ件数 321件
- 小集団参加 1コース8回×2コース×12組
- 臨床心理士相談会 年間12日（24時間）

【実施内容】

- 発達に関する相談サポート
 - ・発達に関する相談
 - ・子育てに関する相談
 - ・小集団支援と保護者サポート
 - ・臨床心理士相談会
 - ・就学に関する相談
 - ・教職員研修会開催
 - ・サポートブック「ハーモニー」作成サポート
- 発音改善のための相談・指導
 - ・構音障がい改善のための相談・指導
 - ・吃音サポート



発達支援室「こどもも」

【前年度実績】

- 相談人数 168人

拡
充

放課後児童クラブ建設事業

担当課 こども育成課

139 万円

【目 的】

伊達小学校児童の放課後の安全・安心な居場所として「だて児童クラブ」を開設し、子どもたちの健やかな成長が図られるよう育成支援を行っていますが、年々利用児童が増加しており将来的な施設の不足も見込まれることから、児童クラブの改築を進めます。

財源（万円）

市の負担
139

【実施内容】

- 伊達児童館の解体設計

【前年度実績】

- 基本設計

子育てアプリ事業

担当課 こども支援課

234 万円

【目 的】

プッシュ通知でスマートフォンへ子育て情報を発信するほか、多様な機能を搭載し子育て支援の充実を図ります。

【実施内容】

○対象者

主に妊娠中から小学生までの子を持つ方

○利用方法

AppStore又はGooglePlayからダウンロード（無料）

○主な機能

イベント情報：子育て関連イベントがジャンル別で簡単に検索できます。

子育てコラム：子どもの年齢に合った悩みのケア方法をプッシュ通知で配信します。

予防接種・健診記録：受診済みの健診を記録できるので、受診漏れの防止に役立ちます。

【前年度実績】

○ダウンロード件数 421件



アプリ TOP 画面

認定こども園維持管理事業、認定こども園運営費負担金事務

担当課 こども育成課

9 億 1,643 万円

【目 的】

幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設の特色を活かし、総合的に質の高い教育及び保育を提供します。

【実施内容】

○開園時間 7時～19時

○保育時間 保育標準時間 7時～18時

保育短時間 8時～16時

教育標準時間 8時15分～13時30分

（園により実施時間が少し異なります）

※上記保育・教育時間以外で利用を希望する場合は、開園時間内での延長保育（教育標準時間は預かり保育）を利用することができます。

※平成29年度より市独自に2号認定（満3歳以上保育認定）のお子さんの保育料の上限を3万3,000円から1万9,000円に引き下げて、子育て支援に力を入れています。

私立認定こども園に対しては、利用定員や入所児童数に応じて国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立認定こども園に対し、補助金を交付します。

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他（保育料・給食費など）
	4 億 3,359	4 億 4,224	4,060

【前年度実績】

市内認定こども園は、公立2園と私立5園の計7園です。

0～5歳児 976人が利用しました。



保原保育園運営維持管理事業、保育所運営費負担金事務、私立保育園補助金交付事業

担当課 こども育成課

5 億 924 万円

【目 的】

就労している保護者に代わって、家庭と連携を取りながら養育の補完と教育を行うことで、子どもの最善の利益を図ります。

【実施内容】

○開園時間 7時～19時

○保育時間 保育標準時間 7時～18時

保育短時間 8時～16時

※上記保育時間以外で利用を希望する場合は、開園時間内での延長保育を利用することができます。

※保育標準時間と保育短時間とは「保育を必要とする事由」により区分されます。

※平成29年度より市独自に2号認定（満3歳以上保育認定）のお子さんの保育料の上限を3万3,000円から1万9,000円に引き下げて、子育て支援に力を入れています。

私立保育園に対しては、利用定員や入所児童数に応じて国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立の保育園に補助金を交付します。

財源（万円）

市の負担	国・県の負担	その他（保育料など）
2 億 638	2 億 3,094	7,192

【前年度実績】

市内保育園は、公立1園と私立3園の計4園です。

0～5歳児 414人が利用しました。



幼稚園管理運営事務、幼稚園預かり保育事業、私立幼稚園運営費負担金事務

担当課 こども育成課

1 億 2,742 万円

【目 的】

市内の幼稚園の教育環境を整備し、「3歳からの幼児教育」の充実を図ります。

【実施内容】

○開園時間 7時15分～19時

○教育時間 教育標準時間 8時15分～13時30分

（園により実施時間が少し異なります）

※教育標準時間以外で利用を希望する場合は、開園時間内での預かり保育を利用することができます。

※平成27年度から1号認定（3歳以上教育認定）のお子さんの保育料の上限を私立園も含めて一律5,700円に設定し、子育て支援に力を入れています。

私立幼稚園に対しては、利用定員や入所児童数に応じて国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立幼稚園に対し、補助金を交付します。

財源（万円）

市の負担	国・県の負担	その他（保育料）
1 億 516	1,648	578

【前年度実績】

市内幼稚園は、公立6園と私立1園の計7園です。

3～5歳児 236人が利用しました。



放課後児童健全育成事業

担当課 こども育成課

1億9,270万円

【目的】

保護者が仕事などで家庭にいない小学生を対象に、放課後などの時間を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができる場を提供します。

【実施内容】

市内11カ所で公立児童クラブを開設します。

また、専門的な知識を有する民間事業者へ子どもたちがクラブでの生活を通して健やかに成長できるよう、遊びのプログラム実践と、特別支援児童巡回指導業務を委託し、運営をより充実させています。

【前年度実績】

○登録児童数

1～6年生 826人が登録、利用しました。

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他(保育料)
	8,992	7,608	2,670



政策 2

豊かな心を育むまちづくり

新規

子どもの貧困対策事業

担当課 こども支援課

264万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	66	198

【目的】

全ての子どもが、育った環境や社会情勢に左右されることなく、健やかに成長できる環境を整えるため、子どもの生活環境に関する実態把握をします。

【実施内容】

伊達市の子どもの生活環境を把握するため、実態調査を実施し、結果、状況について分析をします。

分析結果に基づき、伊達市にとって何が効果的な支援なのかについて、検討していきます。



児童虐待等相談事業

担当課 こども支援課

1,027万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	966	61

【目的】

家庭や学校における子どもの適正な教育及びその他家庭児童福祉の向上を図ります。また、児童生徒のいじめや不登校、保護者による虐待などの改善に向け、学校や関係機関と連携して問題を抱える子どもの相談支援を行います。

【実施内容】

こども相談員4人を配置し、相談支援業務を行います。また、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、児童虐待を未然に防ぐ取り組みを進めます。

【前年度実績】

○相談件数 94件

出産祝金支給事業

担当課 こども支援課

3,750万円

財源（万円）	市の負担
	3,750

【目 的】

少子化を抑える対策として、多子世帯の育児に対する経済的負担軽減を図ります。

【実施内容】

- 対象児
平成27年4月1日以降に生まれ、市内に住民登録をした第3子以降の子ども
- 受給対象者
 - ①対象児が生まれた日の1年以上前から市内に居住している保護者
 - ②市税の滞納がないこと（世帯全員）
 - ③対象児を含めて3人以上の児童（20歳未満）を養育していること
- 支給金額 子ども1人あたり 50万円

【前年度実績】

- 支給人数 67人

ひとり親家庭自立支援給付事業

担当課 こども支援課

180万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	45	135

【目 的】

ひとり親家庭の自立を目的とした就業支援として、就業に必要な資格取得に係る経費の一部を給付します。

【実施内容】

- 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金
 - ・受講終了時給付金 対象費用の20%
 - ・合格時給付金 対象費用の40%
(受講終了時給付金と併せた上限15万円)
- 自立支援教育訓練給付金
 - ・対象講座
雇用保険制度の教育訓練給付の指定訓練講座
 - ・受講終了時給付金 対象費用の60%
(1万2千円以上20万円まで)
- 高等技能訓練促進費
 - ・対象資格：看護師(准看護師)・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・美容師・社会福祉士・製菓衛生師・調理師 ほか
 - ・訓練促進費（月額） 7万500円～10万円
 - ・修了一時金 2万5,000円～5万円

障がい児通所支援事業

担当課 こども支援課

2億4,349万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	6,364	1億7,985

【目 的】

児童福祉法に基づき、障がい児が地域において通所支援サービスを受けるにあたっての給付事業や、支援に必要なサポートブックを提供します。

【実施内容】

- 通所受給者証の交付
 - 障害児通所給付費及び障害児相談支援給付費の支給
対象者：身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）のため、通所による支援などを必要とする児童。
対象サービス
 - ・児童発達支援
 - ・医療型児童発達支援
 - ・放課後等デイサービス
 - ・保育所等訪問支援
 - ・障害児相談支援
- 利用者負担：原則1割（課税状況に応じて上限額が設定）

【前年度実績】

- 通所受給者証交付件数 218件
- 障害児通所給付 延べ16,453件
- 障害児相談支援給付 488件

2-2 「生きる力」を育む学校教育の充実

教育相談事業

担当課 学校教育課

2,257 万円

【目 的】

不登校やいじめをはじめとする生徒指導上の様々な課題解決を図るため、各分野の専門員を配置します。

【実施内容】

- ①心理学の専門職であるスクールカウンセラーの教育相談などにより、児童生徒の心の問題の解決を図ります。
- ②福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの教育相談などにより、児童生徒の置かれている環境に働きかけ、改善を図ります。
- ③適応指導教室「あおば教室」の通級により、個に応じた学習を行い、学校への復帰を図ります。

【前年度実績】

- ①スクールカウンセラー18人を配置
- ②スクールソーシャルワーカー2人を配置
- ③適応指導教室「あおば教室」に指導員5人を配置

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	751	1,506



小中一貫校推進事業

担当課 教育総務課

7 億 4,270 万円

【目 的】

小手小学校と月館小学校及び月館中学校を9年間を通した小中一貫教育校とするため、月館中学校施設を改修及び増築し、小中一貫校建設を進めます。

【実施内容】

- 小中一貫校建設工事
- 小中一貫校建設工事監理業務
- 月館中学校仮設校舎賃貸借など

【前年度実績】

- 小中一貫校の検討委員会開催
- 小中一貫校建設基本設計・実施設計
- 小中一貫校建設地質調査など

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	6 億 9,081	5,189



月館中学校校舎

伊達小学校改築事業

担当課 教育総務課

1 億 5,521 万円

【目 的】

老朽化した校舎や屋内運動場などの教育環境を改善し、必要な面積を確保するため、伊達小学校の改築工事を実施します。

【実施内容】

- 改築実施設計
- 小学校・旧幼稚園解体工事実施設計
- 敷地造成工事実施設計など

【前年度実績】

- 基本設計
- 地質調査
- 耐力度調査
- 施設等検討委員会など

財源（万円）	市の負担
	1 億 5,521



伊達小学校校舎

（仮称）伊達市保原学校給食センター建設事業

担当課 学校給食センター

2 億 1,434 万円

財源（万円）	市の負担
	2 億 1,434

【目 的】

老朽化した保原・梁川学校給食センターを統合し、新たな最新設備の学校給食センターを建設し、公設民営による給食事業を行い、運営の効率化を図ります。

【実施内容】

平成28年度、平成29年度の継続事業として、本年7月にセンター建設工事完了予定。今年度後半事業で、旧保原学校給食センター解体工事、駐車場整備などを行います。

【前年度実績】

本体工事、電気設備工事、機械設備工事（継続事業）



南側からセンターを望むイメージ図

拡
充

小学校施設整備事業（掛田小学校耐震改修事業）

担当課 教育総務課

3,471 万円

財源（万円）	市の負担
	3,471

【目 的】

耐震性能が不足し、老朽化が著しい掛田小学校（校舎2棟、屋内運動場）の耐震化及び施設の長寿命化のため、耐震補強・大規模改修工事を実施します。

【実施内容】

- 増築工事設計
- 地質調査など

【前年度実績】

- 耐震補強・大規模改修工事実施設計（校舎2棟、屋内運動場）
- 地質調査など



掛田小学校校舎

学校図書館機能活性化事業

担当課 学校教育課

1,758万円

財源（万円）	市の負担
	1,758

【目 的】

児童生徒の感性や想像力を豊かにするとともに、知的好奇心を育み、自ら調べる態度を育成する読書活動を推進するために、学校図書館を授業などに活用し、「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての学校図書館の充実を図ります。

【実施内容】

- 学校図書館、読書活動推進に関する専門的な知識・技能を有する学校司書を配置し、本の貸出業務、調べ学習に役立つ資料の整備、授業の補助、読み聞かせの充実を図ります。
- 学校司書の配置は、平成30年度は1人増員した合計7人で、6つの中学校区に1人～2人ずつ配置します。

【前年度実績】

- 学校司書が市内全ての小・中学校に巡回して、学校図書館を整備することで、来館者や図書の貸出し冊数の増加につながりました。
- 県の「学校図書館活性化事業」の委託を受け、学校司書が先進地視察や各種研修、研究授業に積極的に参画し、その効果、充実ぶりを県内に広く知らせました。

小中連携学力向上推進事業

担当課 学校教育課

554万円

財源（万円）	市の負担
	554

【目 的】

小中学校の児童生徒の知識や技能の習得と、思考力や判断力、表現力そして学習意欲などを育成し、「確かな学力」の向上を図ります。

【実施内容】

- 6つの中学校区ごとに、小・中学校が密接に連携して、児童生徒の学力向上や生徒指導に取り組みます。
- 学力の実態を分析し、学習指導の改善に資するために、小学校1年生から中学校2年生を対象に学力調査を実施します。

【前年度実績】

- 中学校区ごとに研究推進委員会を組織し、地域の実態に応じて、義務教育9年間を見通した事業づくりや生徒指導などの取り組みを充実しました。
- 小学校では国語、算数の学力が向上し、県学力調査で、県平均を大きく上回る結果を残しました。中学校では、3年連続で県平均との差が小さくなりました。

伊達市吹奏楽きらめき事業

担当課 学校教育課

924万円

【目 的】

伊達市復興のシンボルとして、中学校吹奏楽部の強化・充実を図り、音楽の力で市民が復興に向け勇気と希望が持てるようにします。

【実施内容】

- 市内6つの中学校の吹奏楽部員を対象に、東京藝術大学音楽部の教員や学生による定期的な演奏技術指導を実施します。
- 平成30年5月27日（日）に保原体育館で「第7回合同演奏会」を開催します。また、各地域で開催されるイベントなどにおいて吹奏楽部の演奏を行い、市民と音楽を通じた交流を深めます。
- 吹奏楽部で使用する楽器の修繕や補充

【前年度実績】

- 東京藝術大学音楽部との交流活動を年5回実施。
- 合同演奏会を開催し、市内中学校吹奏楽部のほか、伊達小学校、市内にある高等学校（保原高・梁川

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	436	488

高・聖光学院高）それぞれの吹奏楽部、梁川交響吹奏楽団の友情出演、更には伊達市楽友協会が賛助出演（来場者数1,200人）



昨年5月に梁川中学校アリーナで行われた第6回合同演奏会の様子

小学校施設維持管理事業

担当課 教育総務課

7,639 万円

財源（万円）	市の負担
	7,639

【目 的】

小学校21施設（廃校5校含）の営繕、施設管理業務委託、その他施設備品の管理などの事業を総合的かつ効果的に執行します。

【実施内容】

- 栗野小学校プールフェンス改善工事
- 機械警備業務など

【前年度実績】

- 伊達東小学校高架水槽取換工事
- 大田小学校屋上防水改修工事など

中学校施設維持管理事業

担当課 教育総務課

4,775 万円

財源（万円）	市の負担
	4,775

【目 的】

中学校6施設の営繕、施設管理業務、その他施設の更新などにより、生徒たちの教育環境改善を図り安心安全な施設にします。

【実施内容】

- 霊山中学校屋根塗装改修工事など

【前年度実績】

- 霊山中学校受水槽改修工事
- 梁川中学校火災報知設備工事など

拡
充

学校給食センター運営事業

担当課 学校給食センター

5 億 3,708 万円

【目 的】

「食の現場から食育の現場へ、安心・安全でおいしい給食をお届けします」を年間テーマに、小中学校、幼稚園の児童生徒の健全な発達のため、安心・安全な食材を使い、バランスの取れたおいしい学校給食を提供します。

【実施内容】

- 給食の提供
年間平均実施日数（学校別で日数は異なる）
小学校180日 中学校180日 幼稚園125日
1日あたり 伊達学校給食センター 1,100食
梁川学校給食センター 1,100食
保原学校給食センター 2,700食
- 保護者の皆さんからお預かりした給食費は、全額給食材料費に使われます。
- 給食提供にかかる管理運営費（衛生費、燃料費、印刷費など）、委託料などを支出します。
- 2学期から梁川Cと保原Cを統合した新給食センターから、伊達地域以外の幼稚園、小中学校に給食を届けます。

【前年度実績】

- 給食の提供
小学校185日 中学校180日 幼稚園125日

財源（万円）	市の負担	その他（給食費）
	2 億 8,335	2 億 5,373

（平均日数）

- 1日あたり 伊達学校給食センター 1,004食
- 梁川学校給食センター 1,198食
- 保原学校給食センター 2,716食

- 小学校1食273円 中学校1食315円 幼稚園1食270円に給食日数分を乗じた額を徴収し、給食材料費に全額充当しました。その他経費は市負担により運営しました。



親子で楽しく給食試食会

2-3 心を育む生涯学習の推進

通学合宿所整備事業

担当課 教育総務課

2億9,716万円

財源（万円）	市の負担
	2億9,716

【目的】

市内の小学5年生を対象とした、「通学合宿体験事業」を実施するための施設を保原総合公園内に整備します。

【実施内容】

- 合宿所建設地土地造成工事（平成29年度～平成30年度）
- 合宿所建築工事（平成30年度～平成31年度）

【前年度実績】

- 通学合宿所敷地測量及び造成設計業務委託

スポーツ施設指定管理事業

担当課 教育総務課

1億4,805万円

財源（万円）	市の負担
	1億4,805

【目的】

社会体育施設の管理に指定管理者制度を導入し、効率的な管理・運営を行うことにより、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを行います。

【実施内容】

一般財団法人伊達市スポーツ振興公社を指定管理者として、市内16カ所の社会体育施設の管理運営を行います。

【前年度実績】

- 市内17カ所の社会体育施設の管理運営



保原プール

生涯学習指導員配置事業

担当課 教育総務課

1,214万円

財源（万円）	市の負担
	1,214

【目的】

教育委員会及び地域自治組織などで実施する社会教育事業・生涯学習事業全般にわたり、事業の実施や支援を行うため、知識や経験を有する生涯学習指導員を配置します。

【実施内容】

教育委員会主催事業の企画・運営を行います。
地域自治組織などで行っている、社会教育事業について支援・助言を行います。

【前年度実績】

- 生涯学習指導員 6人配置

いきいき土曜日体験活動事業

担当課 教育総務課

11万円

財源（万円）	市の負担
	11

【目的】

土曜日を活用した体験活動の場を設け、児童に多様な学びや体験活動などバランスのとれた心身の発達を促す場と機会を提供します。

【実施内容】

- スポーツ吹矢体験（5月・6月・11月・12月 計4回）
- エネルギー出前講座（9月）

【前年度実績】

- インディアカ体験（6月・12月 計2回）
対象：小学5年・6年
会場：保原小学校アリーナ 9人参加
- スポーツ吹矢体験（7月）
対象：小学5年・6年
会場：保原小学校アリーナ 7人参加
- マジックと手作りおもちゃづくり（9月）
対象：小学5年・6年
会場：梁川中央交流館大会議室 11人参加

生涯学習推進会議運営・推進事業

担当課 教育総務課

236万円

財源（万円）	市の負担
	236

【目 的】

市民が主体的に学ぶ機会を広く提供するため、教育委員会及び地域自治組織などで実施する社会教育事業・生涯学習事業を関係団体と連携して実施します。

【実施内容】

- 社会教育事業や生涯学習事業を実施します。
- 地域自治組織での生涯学習事業の支援・指導を行います。
- 地域での社会教育・生涯学習推進のため、リーダー育成を図ります。

【前年度実績】

- 各種講座参加者 2,299人
- リーダー研修会 2回開催（6月・10月）37人参加

体育施設維持管理事業

担当課 教育総務課

327万円

財源（万円）	市の負担
	327

【目 的】

市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、社会体育施設の維持管理を行います。

【実施内容】

- 社会体育施設の維持管理（10万円以上の修繕・工事など）
- その他スポーツ施設（旧保原小学校跡地、柏町運動広場など）の維持管理

【前年度実績】

- 旧保原小学校跡地（グラウンド）管理
- 霊山体育館共同アンテナ修繕
- 保原屋内プール足洗い場シャワー水栓取付修繕
- 梁川体育館電気設備修繕
- 梁川プール暖房設備修繕

図書館運営事業

担当課 教育総務課

1,731万円

【目 的】

一般図書・児童図書・郷土資料やCD・DVDなどの貸出、図書資料の閲覧、図書資料複写サービスなど、多くの方々が利用しやすい市民のための図書館づくりをします。
また、各地域の図書館読書ボランティアや小中学校（学校司書）と連携を図りながら、子どもの読書活動推進の強化に努めます。

【実施内容】

- おすすめの本やテーマを決めた本の展示
- 読み聞かせ
- 夏休み・冬休み子ども映画会の開催

【前年度実績】

（平成29年4月1日～平成30年1月31日現在）

施設名	蔵書冊数（一般書）	蔵書冊数（児童書）	貸出冊数	利用者数
市立図書館	59,992	33,004	94,910	95,281
保原中央交流館図書室	21,247	12,194	15,953	9,286
梁川中央交流館図書室	8,868	6,271	2,075	（入館者数計測機を設置していない）
霊山中央交流館図書室	7,301	6,567	1,409	
月館中央交流館図書室	3,715	4,455	1,421	
合 計	101,123	62,491	115,768	



ブックフェスタの様子

2-4 文化財の保護と芸術文化の振興

埋蔵文化財保護事業

担当課 文化課

1,827 万円

【目 的】

開発などにより失われゆく貴重な遺跡の記録・保存のため、遺跡の発掘調査を行います。また、伊達氏の本城でもあった梁川城跡について、国指定に向けた事務作業を進めていきます。

【実施内容】

- 国史跡指定を目指し、梁川城跡の国指定に向けた事業を進めます。
- 開発が行われる遺跡について試掘調査を実施します。

【前年度実績】

- 梁川城跡の総合調査報告書の作成
- 開発に伴う試掘調査の実施 20件

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,527	300



上空から見た梁川城本丸跡

政策
2

豊かな心を育むまちづくり

文化財保護事業

担当課 文化課

2,331 万円

【目 的】

伊達市に残された貴重な文化遺産を後世に伝えるため、文化財の保存管理を行います。

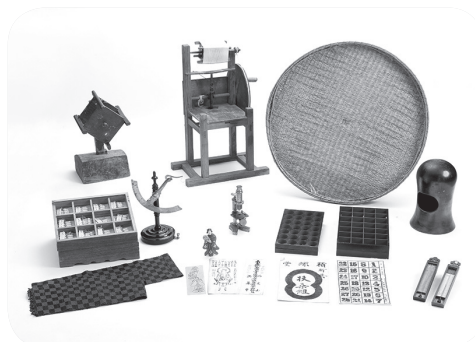
【実施内容】

- 国重要文化財指定を目的とした養蚕用具の整理作業
養蚕用具の台帳・図面などの制作
伊達地方の養蚕業に関する調査
- 養蚕用具を活用した展示など
- 文化財の管理・団体育成などに関する補助金の交付
18団体

【前年度実績】

- 伊達地方の養蚕業に関する調査報告書の作成
- 養蚕用具の台帳・図面などの制作
- 文化財の管理・団体育成などに関する補助金の交付
20団体

財源（万円）	市の負担
	2,331



整理作業が進む養蚕関係用具

資料館管理運営事業

担当課 文化課

1,677 万円

【目 的】

市の歴史や文化に触れる場として「伊達市保原歴史文化資料館」を拠点に各種事業を行います。

併設する国重要文化財「旧亀岡家住宅」の適正な管理と活用を行います。

【実施内容】

○企画展示：

北畠顕家生誕700年記念企画展「北畠顕家と霊山」
(3回の展示替え予定)

○各種講座：

郷土史講座・古文書講座など開催(月1回程度)

○ワークショップ：

「勾玉づくり」など(春・夏・冬休み期間)

財源(万円)	市の負担	その他(使用料)
	1,557	120

【前年度実績】

○企画展示：

「高子熊阪家と高子二十境」、「伊達政宗と伊達市」、「明治・大正期の名医 三浦謹之助博士」

○各種講座：

郷土史講座(全5回)、古文書講座(全8回)

○ワークショップ：「勾玉づくり」ほか

○秋の資料館まつり(11月3日開催)



小学校での出前講座

美術館管理運営事業

担当課 文化課

1,395 万円

財源(万円)	市の負担	その他(使用料)
	1,386	9

【目 的】

市民が芸術文化に親しみ、活動に取り組めるよう「梁川美術館」の管理運営を行います。

【実施内容】

○1階：彫刻家太田良平の常設展示

○2階：市民ギャラリー(市民による作品発表や自主企画展)

【前年度実績】

○入館者数 7,594人

○市民ギャラリー貸出
7回



常設展示作品「あやとり観音」

美術館自主文化事業

担当課 文化課

234 万円

財源(万円)	市の負担	その他(使用料)
	134	100

【目 的】

優れた芸術作品に親しんで貰うため、「梁川美術館」において7件の美術館主催・共催事業を行います。

また、講師をお招きしてワークショップを開催します。

【実施内容】

○酒井昌之展

○ふくしま緑の写真展

○水森亜土「アドちゃんのクリエイション展」

○世界児童画展

○収蔵作品展

○NHK福島の桜フォトコンテスト写真展伊達展

○わたしたちの高子二十境展

【前年度実績】

○自主企画展 開催回数 8回(165日)



絵本作家ギャラリートーク